

ソフトウェア活用

対象クラス	第2学年 ビジネス情報科	単位数	4
使用教科書	ソフトウェア活用 (実教出版)		
使用副教材	全商情報処理検定模擬試験問題集 1級 ビジネス情報(実教) 学習と検定 全商情報処理検定テキスト1級 ビジネス情報部門 三訂版(実教) 身につく!合格!ITパスポート(インフォテックサーブ) 身につく!合格!ITパスポートサブノート(インフォテックサーブ) ITパスポート試験問題集(インフォテックサーブ)		

「ソフトウェア活用」とはこんな科目です。  
 1年生で学習した情報処理の知識や技術をさらに深め、表計算ソフトを活用した情報処理能力を身に付けます。コンピュータの操作だけでなく、周辺機器やコンピュータに関連する知識を幅広く学習します。

科目の到達目標(目標とする検定等)  
 全商情報処理検定ビジネス情報部門1級合格と国家試験ITパスポートに関する知識を身に付けます。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	・企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	・定期考査、小テスト ・行動観察、問題集、発表
思考・判断・表現	3	・企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	・定期考査、小テスト ・行動観察、問題集、発表
主体的に学習に取り組む態度	3	・企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	・行動観察、提出物、実習物提出 ・発表

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	1章 企業活動とソフトウェア活用	1 ビジネスにおけるソフトウェアの活用 2 ビジネスにおけるソフトウェアの進化	・社会で利用されている情報システムの例や、ビジネスにおけるソフトウェアの活用の実例を学ぶことにより、情報通信ビジネスにおけるソフトウェア活用の重要性を理解する。 ・ソフトウェアの進化が、社会の変化に与える影響を考える学習活動により、関連する知識を身に付ける。 ・Society5.0 が実現しようとしている社会について考察し、ソフトウェアの活用例と目的を理解する。 ・情報資産を保護するため、ソフトウェアの脆弱性への対応や、リスクを適切に管理する方法について理解する。
	2章 情報通信ネットワークの活用	1 情報通信ネットワークの導入と運用 2 情報資産の保護	
	【前期中間考査】		
前期期末	3章 表計算ソフトウェアの活用	1 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 2 表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ	・表計算ソフトウェアを通して、情報の集計と分析について理解し、様々な集計や分析方法、集計した情報から、分析結果を適切に表現する能力を身に付ける。 ・データベースソフトウェアを活用するための知識と技術について理解する。
	4章 データベースソフトウェアの活用	1 ビジネスとデータベース 3 手続きの自動化 4 データベースの構造 5 SQLの知識	
	【前期期末考査】 全商情報処理検定1級		・データベースの構造を理解する。また、表を正規化するための手順を理解する。 ・データベースを用いたSQLの基本操作について理解する。

後 期 中 間	<p>4章 データベースソフトウェアの活用</p> <p>5章 業務処理用ソフトウェアの活用</p> <p><b>【後期中間考査】</b></p>	<p>5 SQLの操作</p> <p>1 グループウェアの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースを作成し、汎用的なデータベースの操作方法について理解する。</li> <li>・グループウェアを活用することの利点と、グループウェア (Teamas)を活用して効率的に業務を行う方法について理解する。</li> </ul>
学 年 末	<p>6章 情報システムの開発</p> <p><b>【学年末考査】</b></p> <p>ITパスポート(随時希望者個人受験)</p>	<p>1節 システム開発の基礎</p> <p>2節 アルゴリズムの基礎</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について実務に即して理解するとともに、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアによる情報システムの開発と関連付けて理解を深める。</li> <li>・情報システムの開発の中でのプログラミングにおいて、コンピュータに指示を出すための手順であるアルゴリズムについての基礎的な技術や、プログラミングに必要な関連する知識、技術を身に付ける。</li> </ul>